



あゆみ



令和2年度 和光幼稚園「園だより」

今月号では幼児教育に係る資料をお届けします。

「乳幼児期の論理的思考の発達に関する研究」

文部科学省国立教育政策研究所

五官を使った直接体験は論理的思考の発達に不可欠

幼児にとっては諸感覚を使った実体験をすること、それも自分にとってかかわりの深い物や人・友達、状況に気持ち働かせること、特に知的好奇心や探究心が湧きあがるような「心が動く体験」になっているからこそ、論理的な思考が働くのである。

幼児教育の観点からみると、論理的な思考力は、それだけを取り出して指導できるものではない。幼児にとって心が動く質の高い豊かな体験こそが論理的な思考力を湧きあがらせると考える。

子どもの自発的・主体的な遊びを通して子どもたちは思考力や想像力を育てていく。「遊び」とは、仕事に対立する概念ではない。また、「怠けること」を意味するものでもない。幼児にとって「遊び」とは「自発的な活動」であり、頭が活き活きと働いている状態を指している。

子どもの主体性を大事にした遊びを中心に保育している自由保育の子どもが一斉保育の子どもより語彙得点が高く、知能も発達しているという結果が明らかになった。つまり、国語、算数、体育などを、先取り教育している子どもに比べて、自由遊びの時間が多い子どもの方が語彙力が豊かであり、想像力も豊かに育っているという結果が明らかになったのである。

可塑性の高い素材(紙や段ボール、砂、積み木など)を使っているいろいろな制作物を作ったり、絵を描いたり砂団子を作ったりなど、幼稚園や保育所で指先をよく動かしていた子ども、造形活動が好きだった子どもは小学校でのPISA型読解力テストの成績が高くなった。

「50の文字を覚えるよりも、100の何だろう、を育てたい」自分から本当にやろうとしないと自分の力にはならない。自分で関心を持てばあっというまに習得してしまう。文字は子どもの関心の網に目に引っかかってくるに過ぎないのである。肝心なのは文字が書けるかどうかではなく、文字で表現したくなるような内面の育ち、つまり論理的な思考力や創造的な想像力を育むことが、乳幼児期の発達課題なのだ。

そのために保育者は、第1に、子どもに寄り添い、安全基地になる。第2に、その子自身の進歩を認め、褒めていただきたい。第3に、生き字引のように余すところなく定義を与えない。裁判官のように判決を下さない。第4に、禁止や命令でなく提案の形で言ってほしい。第5に、子ども自身が考え、判断する余地を残すことに留意すべきである。

保育者が子どもの主体性を大事にした関わり方をすることによって、論理的な思考力や創造的な想像力が育つのである。

10月の行事予定

- 1日(木) 衣替え・避難訓練・誕生会
- 9日(金) 年少参観日
- 20日(火) 秋の遠足(メルヘン村)
- 27日(火) 未満児参観日



11月の行事予定

28日(土) おゆうぎ会
(嬉野市中央体育館)

※行事等で質問などありましたら、お気軽にお尋ねください



お知らせ

- ◆ **1日から冬制服着用**となります。ジャケットは、気温により調整して下さい。
スモックも長袖と交換して下さい。（*名前のチェックもお願いします。）
ひよこ組さんも、体操服の中に長袖シャツを重ねたり、トレーナー等で調整して下さい。
- ◆ 9日…年少参観日・27日…ひよこ参観日の保護者の参加は、1家庭1名でお願いします。
ひよこ組は【ミニ運動会・昼食参観】を予定しています。
- ◆ 20日（火）のメルヘン村で遠足です。大人が2名以上参加希望される場所は 15日（木）までにお知らせ下さい。 事前に入場料を別途徴収します。未就園児のお子さんは入場無料です。
ベビーカーのレンタル（300円）が6台です。家庭より持ち込み可。
- ◆ 例年11月に行われていた【バルーンフェスタ】【幼稚園対抗ミニバレーボール大会】は
新型コロナウイルスの影響で中止となりました。
- ★ 英語教室（毎週水曜日）…7日・14日・21日・28日
- ★ 体育教室（毎週金曜日）…2日・9日・16日・23日・30日



ブログ更新中…